

日本学術会議 学術フォーラム

2030年に向けた企業経営・会計監査の人材育成に資する教育変革

2025年3月1日 日本学術会議講堂

パネリスト

古澤知之(公益監視委員会PIOBメンバー、金融庁元企画市場局長)

菊地唯夫(経済同友会副代表幹事、ロイヤルホールディングス代表取締役会長)

野口晃弘(日本学術会議第一部会員・経営学委員会委員長、南山大学教授)

阪智香(日本学術会議連携会員、関西学院大学教授)

ファシリテーター

恩藏直人(日本学術会議連携会員、早稲田大学教授)

本パネルの流れ

13：55～15：25

導入

- 1) 各パネリストからの発言（40分程度）

菊地先生 ⇨ 古澤先生 ⇨ 阪先生 ⇨ 野口先生

- 2) パネリスト間の意見交換（20分程度）

- 3) 参加者を交えての質疑応答（20分程度）

結び

本パネルの位置づけ： 3つのワーキング

- ▶ **経営専門人材（弁護士、会計士など）の育成**

主査：佐藤先生（代理：太田先生）

- ▶ **教育プラットフォーム**

主査：阪先生

- ▶ **経営人材の育成**

主査：恩藏



IMD World Digital Competitiveness Ranking 2024

The digital divide: risks and opportunities

IMD世界競争力センターによる2024年度版 「IMD世界デジタル競争力ランキング」

- ▶ このランキングは世界67の国・地域を対象に、ビジネス、行政プロセスなどにおけるデジタル技術の導入・活用状況を測定し、比較している。
- ▶ 日本は前年の調査からランクを1つ上げ、**31位**。
- ▶ アジア・パシフィックエリアでは、韓国、台湾、中国などに後れを取り、**7位**。
- ▶ 「KNOWLEDGE（知識）」「TECHNOLOGY（技術）」「FUTURE READINESS（将来への準備）」で評価。特に、3つ目の「**ビジネスの俊敏性（アジリティ）**」では著しく劣っている。

01	Singapore		100.00	↗	2
02	Switzerland		93.15	↗	3
03	Denmark		91.99	↗	4
04	USA		91.31	↘	3
05	Sweden		90.42	↗	2
06	Korea Rep.		88.62		-
07	Hong Kong SAR		88.11	↗	3
08	Netherlands		87.03	↘	6
09	Taiwan (Chinese Taipei)		86.33		-
10	Norway		84.58	↗	4
11	UAE		84.06	↗	1
12	Finland		83.57	↘	4
13	Canada		83.16	↘	2
14	China		82.59	↗	5
15	Australia		81.24	↗	1
16	Israel		80.75	↘	3
17	Ireland		80.34	↗	4
18	United Kingdom		78.21	↗	2
19	Iceland		78.18	↘	2
20	France		76.58	↗	7
21	Belgium		75.61	↘	6
22	Lithuania		75.56	↗	6
23	Germany		75.32		-
24	Estonia		73.09	↘	6
25	Austria		72.87	↘	3
26	Qatar		72.17	↗	3
27	Saudi Arabia		71.60	↗	3
28	Spain		70.86	↗	3
29	Luxembourg		69.46	↘	3
30	Bahrain		68.85	↗	6

統計値や専門家への
サーベイなど、54項
目の総合点。知識、
技術、将来への準備
に分けられる

			Score		
31	Japan		68.10		1
32	Czech Republic		67.84		1
33	New Zealand		67.36		3
34	Kazakhstan		66.43		
35	Portugal		66.13		1
36	Malaysia		65.50		3
37	Thailand		65.45		2
38	Latvia		63.17		2
39	Poland		63.00		
40	Italy		62.11		3
41	Slovenia		61.71		4
42	Chile		61.71		
43	Indonesia		61.36		2
44	Puerto Rico		58.05		
45	Kuwait		56.90		4
46	Croatia		55.37		2
47	Romania		53.23		1
48	Cyprus		53.09		3
49	Greece		53.06		3
50	Jordan		52.54		
51	India		51.80		2
52	Slovak Republic		50.68		6
53	Hungary		50.65		6
54	South Africa		50.49		4
55	Türkiye		50.03		2
56	Bulgaria		49.22		1
57	Brazil		48.88		
58	Colombia		48.19		4
59	Mexico		46.21		5
60	Botswana		46.01		
61	Philippines		45.18		2
62	Argentina		44.56		1
63	Peru		41.85		7
64	Mongolia		41.31		1
65	Ghana		31.75		
66	Nigeria		30.67		
67	Venezuela		18.05		3

Asia - Pacific

			Score
01	Singapore		100.00
02	Korea Rep.		88.62
03	Hong Kong SAR		88.11
04	Taiwan (Chinese Taipei)		86.33
05	China		82.59
06	Australia		81.24
07	Japan		68.10
08	New Zealand		67.36
09	Malaysia		65.50
10	Thailand		65.45
11	Indonesia		61.36
12	India		51.80
13	Philippines		45.18
14	Mongolia		41.31

「デジタル敗戦」を抱きしめて

依田高典（京都大学教授）

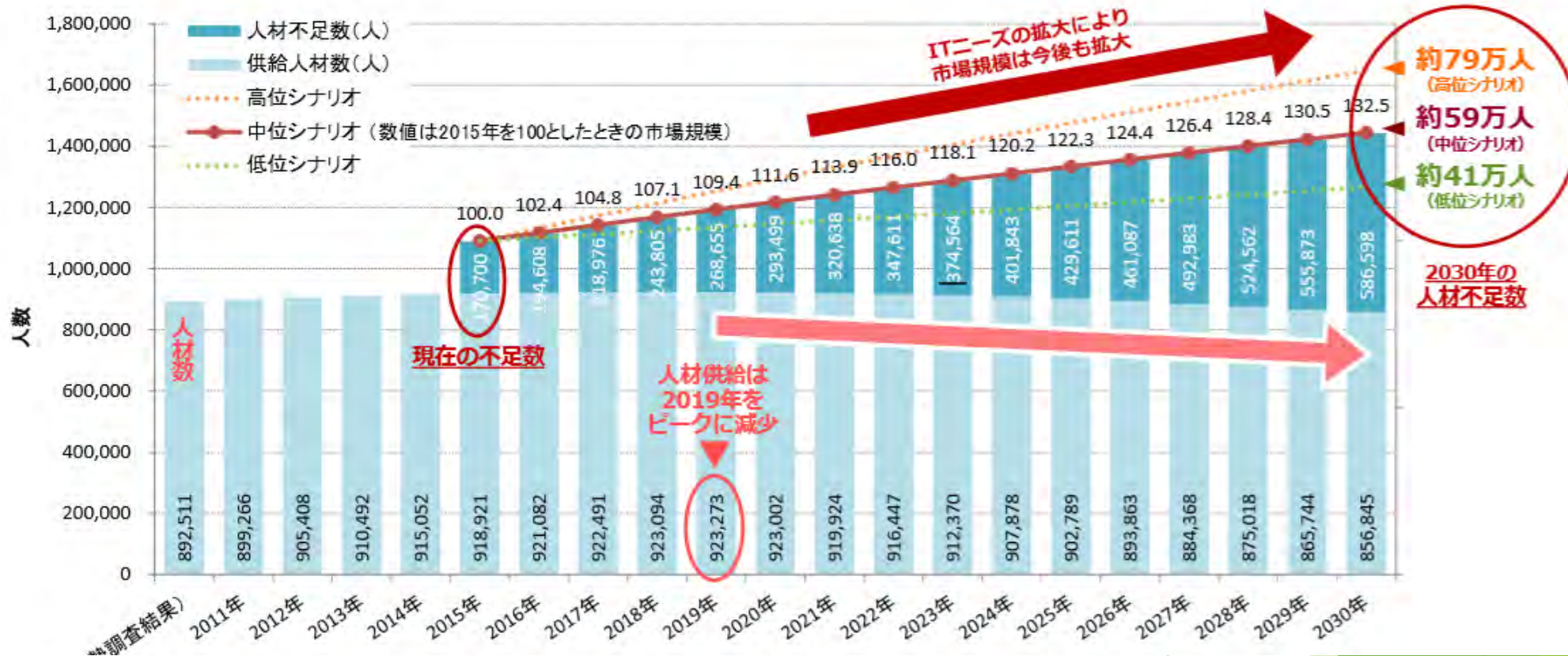
日本経済新聞2025/2/14

- ▶ デジタル敗戦の理由として、「**深刻なデジタル人材不足が挙げられる**」。人材の育成や確保が十分に進まず、デジタルトランスフォーメーション（DX）への対応が遅れている。
- ▶ デジタル人材の育成が進まず、AI人材の輩出もままならない。大学の**学部構成**は、明治以来の法・医・工・文が中心。デジタル人材育成に適した学部や学科の新設が遅れている。
- ▶ 工学部においても伝統的な学科が幅を効かせ、定員も多い。一方、情報工学やAI関連学科の定員は少なく、**学科の縦割り構造**がデジタル教育の刷新を阻んでいる。
- ▶ 文系・理系の区分や時代遅れの全学共通教育が新知識の習得を妨げている。すべての大学生を対象に、**AIを副専攻**とするくらいの大胆な改革が求められる。
- ▶ 日本では**博士号**が企業や官庁で評価されず、高度専門人材が不足。世界では博士号取得者が経営幹部として活躍。

深刻化するIT人材不足（経済産業省）

2015年の不足は約17万人

2030年になると最大で79万人不足



米ウォルマートの設備投資 (単位：100万ドル、24年1月期)

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
▶ IT (EC、SCM)	2,922	2,539	3,288	3,963	4,167	4,521	5,218	5,643	5,681	7,197	9,209
											(29.3%)
▶ リモデル	955	1,030	822	1,390	1,589	2,009	2,152	2,184	2,013	3,278	4,990
											(11.9%)
▶ 新店 (移転含む)	4,340	5,083	4,128	3,194	2,171	914	313	77	134	134	33
											(58.7%)
▶ 合計	8,257	8,652	8,238	8,547	7,927	7,444	7,683	7,904	7,828	10,609	14,232
											(100%)

ダイヤモンド・リテイルメディア編集局長千田直哉氏の資料より